

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	シニアウイル株式会社	代表者	森俊幸	法人・事業所の特徴	<p>通い・訪問・泊まりを柔軟に組み合わせたサービスを提供しています。訪問サービスでは、1日数回個別のニーズにそった支援を行い、通いサービスでは週2回の音楽療法、体操、ゲーム、脳トレ等自由に参加して頂いてます。地域のボランティアの方々も定期的に訪問され、慣れ親しんだ地域で安心して生活を継続できる様な支援を心掛けています。27/10月より月1回音楽療法を地域の皆様に開放し、音楽療法に触れて頂きながら、地域の皆様と介護スタッフが気楽に話し合える交流の場として「サロン」を開放しています。</p>
事業所名	ウイル汲沢ステーション	管理者	鈴木 みゆき		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	人	2人	人	3人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	なし	なし	全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できた。	なし
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所が住宅街の奥にあり、わかりにく為、入り口付近等もう少し入りやすい工夫をする。	皆様が気楽に入れる様、ウェルカムボードを玄関に取り付けた。近隣の場所にも案内等掲示出来る様、ご協力をお願いしている。	なし	なし
C. 事業所と地域のかかわり	地域の回覧板、掲示版に事業所のパンフレット、行事案内等を掲示して頂く。自治会の行事等に参加し、交流を深めながら事業所を知って頂く機会を作る。	自治会に、行事案内等を掲示して頂いた事により、サロンに地域住民が来られる様になった。情報紙を作成、配布し事業所の様子を地域に知ってもらう様取り組んだ。	まだ介護事業所が近隣にある事を知らない人が多い。小規模多機能の内容の広報活動が必要では。	他の自治会にも情報紙の配布をお願いしたり、老人会の会合にも参加して、広報活動を行う。保育園との交流会を継続する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の行事、イベント時は職員配置、送迎時間を検討し、参加できる体制作りを行う。	地域の行事、イベントにはできる範囲で参加できた。	もっと行事に参加する機会を作っては。	更に外に出る機会を増やし、事業所を知って頂く機会を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域包括、民生委員と連携をとり、地域で支えていける様、取り組む。	区役所、地域包括からの新規利用開始相談については、出来る範囲で協力出来た。	運営推進会議で事業所の利用状況、活動状況はある程度わかるが具体的な内容については分からない。	運営推進会議時や事業所で勉強会等を実施し、地域に役立てる様な取り組みを行う。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>運営推進会議時に防災訓練を行い、事業所の防災対策を知ってもらう機会を作る。地域と連携し、具体的なお手伝いや、支援して欲しい内容、役割分担を決めておき、協力体制を作る。</p>	<p>運営推進会議日に夜間を想定した避難訓練を行い、運営推進委員地域住民の方に参加して頂いた。支援して欲しい内容、役割分担を確認する事が出来た。</p>	<p>事業所の避難訓練に参加したが、認知症の方への接し方がわからず、お手伝い出来るか不安がある。</p>	<p>防災訓練時、地域の方にも継続して参加して頂き、役割分担を明確にし、協力体制を深める。</p>
----------------------------	--	--	--	---